

11月7日(水)、市駅・坊ちゃん広場に参加者20名が集合。本日の「四国中央市・新居浜方面の文化財を楽しむ会」は、秋日和の好天気恵まれて、よい一日研修旅行になりそうである。事前の下見や見学場所の交渉がされてきた、案内役の八坂支部渡部英綱先生の説明を聞きながら、バスは一路高速道を走る。

着いたのは四国中央市の山沿いの高台にある「紙産業技術センター」。ここは、愛媛大学の施設で、地元川之江の伝統産業「紙」に特化した技術研究所である。木材をふんだんに使用した室内と紙製品の各種展示品を、ゆったりとした空間の中で見て回る。そして皆さんが楽しみにしている(特に女性)「水引細工」の体験学習。こより状の細い和紙をねじたり曲げたりしながら、ストライプのつり糸とか胸飾りブローチなど悪戦苦闘しながら作品に仕上げている。真剣な顔で、静寂の中作業を続けていた。



次は、川之江町にある「紙のまち資料館」の見学。ここでの楽しみは、何といたっても紙漉きの体験である。作業場に入り長靴に履き替える。職員の方から作業の手順の説明があり、さっそく「はがき」づくりに取り組む。こうぞ・みつまたを液状にした水槽中で、小型の箱ですくい取る。木の葉や添え物をちりばめ、圧縮シアイロンかけをして水分をぬいていく。完成(15分後)した手作りはがきを手に、それぞれ感動の顔。幼児や小学生も訪れているようで、可愛い作品が展示されていた。



お腹も減り、楽しみにしていた昼食は、市の商店街の中にある料理屋「ほそかわ」さん。「寿司セット定食」を味わいながら、お隣同士談笑が続いた。



午後は、四国中央市土居町にある「暁雨館」(ぎょうかん)。郷土の発展に尽くした先人や赤石山系の岩石・鉱物などの展示品を見て回る。大古の地球のダイナミックスさを垣間見る。



最後のコースは新居浜市の「広瀬邸」。伝統的な日本建築様式の母屋と西洋から輸入された調度品に囲まれた洋室が見事に調和している。また、建物周辺の緑の木々に囲まれた庭園は、訪れた人々の心を和ませてくれる。

バスは、高速道をひた走る。市駅に着いたのは午後5時30分。バス疲れは残ったものの、初めての体験・初めての場所……。一日でこんなにも別世界に触れられた経験は貴重であった。すばらしい企画をして頂いた、八坂支部の渡部英綱先生に感謝!!

**12月のお知らせ**

日時 12月19日(水) 9:30~ 文教会館1F図書室

議題 「私が、今思うこと」(趣味、生活、老後など一人10分内で自由に)

※11:30~「新年会」の手順や役割分担を協議します。12:00~文教食堂にてチャンポン昼食会(希望者)